

日時 令和2年11月11日（水）10時～11時半
会場 新別館北館 会議室兼防災活動スペース1
出席者 大平委員 森本委員、永島委員

◆議事 「第4次大阪府子ども読書活動推進計画（案）」について

議事概要

「第1章 第4次大阪府子ども読書活動推進計画の策定にあたって」

（事務局） 【資料④第1章説明】

＜意見・質疑要旨＞

- （委員） 計画を策定するにあたり、最初に事務局へ「読書とはなにか」ということを問いかけた。この第1章の「1 子どもの読書活動を推進する意義」に反映されていて良いと思う。また、計画を策定するにあたり、事務局が現場を視察したことも嬉しく思う。計画策定は大阪府の子どもの未来を描くことだが、現実と合わせるためには、現場の様子を把握することが必要だと思っている。
- （委員） 「1 子どもの読書活動を推進する意義」は、わかりやすい形になっていると思う。ただ、読書で育まれる様々な「能力」が「生きる力」を身に付けると書いてあるが、例えば、幸福感や充実感など、豊かな精神活動をしている人は、豊かな心や、幸せを感じる力が高いと思う。もう少し言葉を足してもらえるとバランスが良いと思う。子どもの時だけでなく、子どもの一生につながる計画であるということも、記載してほしい。
- （委員） 子どもの時の本との出会う経験は、一生を通して活かされる。子どもの時の本との出会いは、大切と考える。
- （委員） 来年オリンピックがあり、2025年（令和7年）には大阪万博がある。この計画は2026年（令和7年度）まで期間があり、大阪・関西万博が終わるころかと思うが、この計画が終了する時に大阪の子どもたちがどんな子どもたちになってほしいかということも記載してほしい。それは、学力の問題ではなく、自分で考える力、自分の意見をもって生きていける子どもの姿が、ここに示せたらと思う。そんな子どもたちを行政としてどうすればサポートできるのかということも大阪らしく入れてもらい、大阪だからできることを計画で作っていくことができれば良いと思う。そして、わかりやすく記載することで、この計画がより府民に浸透するのではないかと考える。また、近年ICT環境が変わってきており、人々の考え方も変わったと思う。紙の本を一生懸命読むだけでなく、そういったことも計画に出していけると良いと思う。
- （委員） これからは、紙の本も電子書籍も組み合わせ、互いをバランスよく使えたら良いのではないかと。
- （委員） この計画で、「読書環境を整備し、自主的に本を読めるよう」という言葉が何回も出てくるが、その言葉のとおり、自主的に読書ができる大阪の子どもたちを大事に育てていきたいと思う。

- (事務局) 「1 子どもの読書活動を推進する意義」について、委員からのご指摘を受けて、もう少し府民に共感が得られるような、わかりやすい記載ができるよう工夫する。
読書を通じて、自分の思い、喜びや怒り、悲しみなど、様々な感情を自分の言葉で表現できるようコミュニケーション力を高め、いろんな人と関わり、つながりあう社会を子どもにはめざしてほしいということが記載できればと考える。
- (委員) 「3 大阪府の子ども読書活動推進計画」の「1. 計画の性格」について、府民の参画、市町村に対する期待が記載されているが、市町村によっては、子ども読書活動推進計画が形骸化しているところもあるように感じる。
読書計画を策定して終わりではなく、毎年度、計画が実行できているか等、確認する必要がある。その際には、様々な視点で意見がでるよう、異なる立場の方に参画してもらった方が良い。
- (委員) 計画の実行は、立案した大阪府だけでは難しく、特に子どもに対する施策は保護者をはじめ、学校や図書館、ボランティア等様々な方の協力が必要。府民の参画、各市町村の協力はあと思う。
- (委員) 必要なことは、現場での取組だが、なかなかその声をくみ上げることが難しく、声をあげる方も難しい。
国の計画も現場の外からの施策となっており、それに合わせて都道府県や市町村が現場の外から施策をしている。それは悪いことではないと思うが、現場の外からの施策と現場の取組がつながらなければいけない。現場の外からの施策が現場の取組に代わっていくことが必要だと思い、この計画策定もひとつのきっかけになれば良い。この計画を見て、現場から取組が生まれると良いと思う。
- (委員) 例えば、大阪府が毎年実施している社会教育調査の自由記述欄を活用し、取組事例を収集し、大阪府が連絡会等で、市町村独自の取組を情報提供することは、参考になる。

「第3章 第4次計画の基本方針と重点的な施策」

(事務局) 【資料④第3章説明】

<意見・質疑要旨>

- (委員) 「8 生活の場ごとの役割と取組例」の1の(2)学校について、学校図書館の充実は、地域によって学校図書館の開館状況や蔵書冊数、学校司書の配置などにばらつきがあるように感じる。
大阪府ですべての子どもが平等に、学校図書館を利用して、読書活動ができるようになればいいと考える。予算が限られてる中、非常に難しいと思うが、公立図書館と学校図書館との連携など、できることを記載してはどうか。
- (委員) 新型コロナウイルス感染症の影響で公立図書館が休館した時、学校図書館は開いており、心のセーフティネットになっていた。各自治体で予算をとることは難しい部分もあると思うが、学校司書は専任、できれば1人1校が理想だと思う。

- (事務局) 社会教育調査でも学校によってばらつきはあると感じている。
委員がおっしゃったように、予算や、マンパワーが市町村によって異なる中、大阪府として、どういった取組ができるのかを考えていきたい。
(2) 学校の箇所、自治体の状況もある中、工夫して記載できればと考える。
- (委員) 私は学校司書の1人1校配置は難しいと考える。私は学校図書館のICTによる無人化を研究しており、まずは学校図書館を開けることが大切と考える。
学校図書館が子どもの居場所という考えもあるかもしれないが、本来の学校図書館の機能は、「読書センター」「学習センター」「情報センター」である。現状は人がいることで居場所になっており、図書館の機能をより良くしている部分もあるが、人がいなければ学校図書館を開けることができないということでは、良くない。
- (事務局) そういった様々な議論について「7 府の重点的な施策と具体的方策」の重点的な施策6で触れているが、庁内のワーキンググループを設置し、それに留まらず、今部会委員にも参画いただいで
いる大阪府社会教育委員会議において、読書計画策定時だけ議論をいただくのではなく、計画期間中、継続して議論できるよう新たにこのような施策を加え、外部からの意見をいただくことができると考えている。
- (委員) 「3 計画における読書の位置づけ」について、前回の部会の際に、読書のハードルを下げてみてはということ議論したが、この書き方だと、単純に読書＝文字を読むことと認識されてしまうのではないかと不安がある。広く捉えるためにこういう例を挙げたと思うので、1行目に、一般的な読書の概念的なものが入っていると、バランスがとれると思う。
- (事務局) 最初の「読書とは」を、もう少し形式的に記載する方法で、工夫したいと考える。
- (委員) 第2段落に、「情報を読み取り～」の箇所があるが、読書よりは情報の方が上位概念である。ただ、本を読むだけでは、情報を得ることができない。食物が食べるだけでは意味がなく消化することで栄養になることと同じように、本も読むだけではなく、考えることで情報を得ることができる。
- (事務局) 今のお話を踏まえ、記載を工夫したい。
- (委員) 別紙「発達段階ごとの特徴と取組の柱」について、重点的な施策4で「支援が必要な子ども」とあるが、支援が必要な子どもが入ると、この5つの柱の乳幼児期、小学生期、中学生期、高校生期という枠組みをはっきりと分けることが良いか疑問に思う。第1章の多文化共生社会の趣旨とも少し異なると思う。
- (事務局) 指摘いただいた視点で記載を検討する。
- (委員) 「7 府の重点的な施策と具体的方策」の重点的な施策2や5に、読書ボランティアの養成講座

の実施とあるが、このボランティアは読み聞かせを想定しているものか。
公共図書館では読み聞かせ以外にレファレンス等を行うボランティアはいないか。

- (委員) 読み聞かせが多いが、それ以外に、本の修理などがある。レファレンスは聞いたことがないが、知識があれば、可能だと考える。個人情報があるので、司書が受け、間接的に対応することになると思う。
- (委員) 読み聞かせボランティアはこれまでの読書計画にも記載があるが、今回の計画では読書の位置づけを広げ、調べることなど加えているので、検索用パソコンの使い方を教えるボランティアなど、ボランティアの在り方も多様な形があってもよいと思う。
- (事務局) 多様なボランティアの養成について、府立図書館と一緒に検討する。
- (委員) 「8 生活の場ごとの役割と取組例」1の(3)地域について、民間団体というところに含まれるかもしれないが、すでにまちライブラリーや、文庫ではなくても、マルシェのようなところで絵本交換するなど、個々で活動されている方もいる。そういう方とも情報共有・連携が進むようになると良い。
- (事務局) 大阪府として、情報を発信できればと思うので、記載を工夫できればと思う。
- (委員) この計画を府民が楽しんで読めるように、行政文書という形ではなく、イラストを入れるなどわかりやすい計画にしてほしい。
- (事務局) できる限り、難しい言葉は使わず、府民にわかりやすい計画としたい。
- (事務局) 【資料⑤の説明】

◆ 閉会